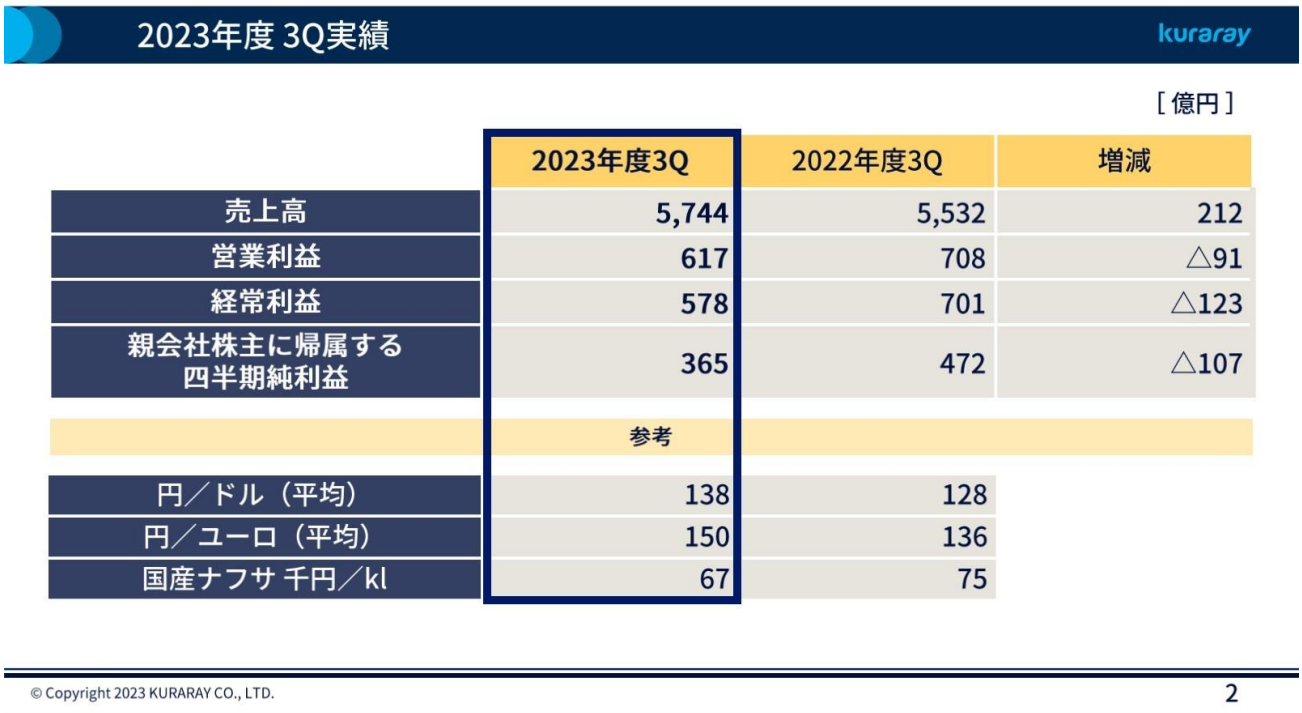
株式会社クラレ

2023 年度第 3 四半期決算説明会

説明者

取締役・常務執行役員 経営企画室担当 多賀　敬治

2023 年 11 月 9 日



多賀：皆さん、こんにちは。多賀でございます。本日はお忙しいところ、当社のカンファレンスコールにご参加いただきましてありがとうございます。

本日のカンファレンスコールには、イソプレンカンパニー長の尾松が出席しております。せっかくの機会ですので、イソプレンビジネスに関してご質問いただければと思います。それでは、2023年度第 3 四半期の決算説明を始めさせていただきます。

スライドの 2 ページ目をご覧ください。

23 年度第 3 四半期の世界経済は、サプライチェーンの混乱収束や半導体不足による供給制限の緩和などにより回復が進んだものの、そのペースは鈍く、力強さを欠きました。

欧州では、金融引締めの継続による経済活動の停滞、中国では不動産市場の低迷などによる成長の鈍化、また出口の見えないロシア・ウクライナ情勢を始めとする地政学的な緊張などにより、先行き不透明な状況が続きました。

このような環境のもと、当社グループの業績は、売上高は前年同期比 212 億円増の 5,744 億円、営業利益は 91 億円減の 617 億円、当期純利益は第 1 四半期に計上した米国エバール火災事故訴訟関連の特別損失もあり、107 億円減の 365 億円となりました。

為替および原燃料の実績は、資料にお示ししてあるとおりです。

セグメント別 売上高・営業利益

kuraray

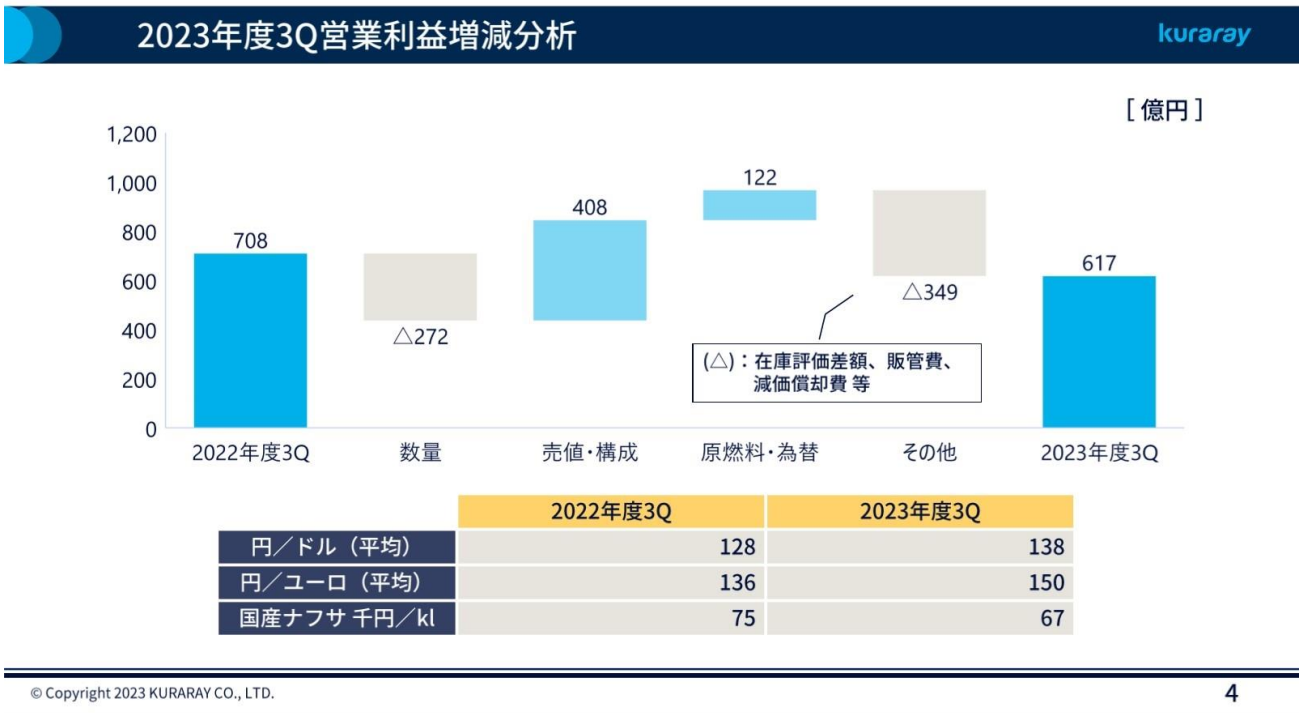
［億円］

	2023年度3Q		2022年度3Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	3,028	638	2,856	590	171	48
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	468	△41	487	41	△19	△82
機能材料	1,396	81	1,237	65	159	16
繊維	449	17	486	66	△37	△48
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	448	37	438	39	10	△2
その他	340	6	376	19	△36	△14
調整額	△386	△122	△350	△112	△36	△10
合計	5,744	617	5,532	708	212	△91

© Copyright 2023 KURARAY CO., LTD.

3 ページ目をご覧ください。

このスライドでは、各セグメントの売上高および営業利益の実績を前年同期との比較でお示ししています。ビニルアセテートと機能材料は増収増益となりましたが、それ以外のセグメントは減益となりました。



	2022年度3Q	2023年度3Q
円／ドル（平均）	128	138
円／ユーロ（平均）	136	150
国産ナフサ 千円／kl	75	67

© Copyright 2023 KURARAY CO., LTD.

4 ページ目をご覧ください。

このスライドでは、営業利益の増減要因の全社まとめを示しております。数量は、景気減速による販売数量の減少や生産調整により、272 億円の減益要因となっています。

一方で、販売価格の改定および高付加価値品へのシフトにより、売値・構成は 408 億円の増益要因となりました。

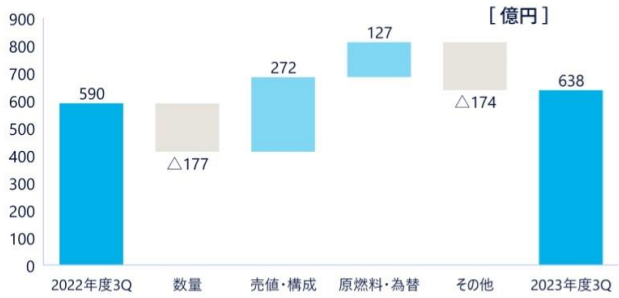
その他は、原燃料価格変動による在庫評価差額や、減価償却費を含む経費の増加により、349 億円の減益要因となりました。

ビニルアセテートセグメントの概要

［億円］

	2022年度3Q	2023年度3Q	増減
売上高	2,856	3,028	171
営業利益	590	638	48

【営業利益増減分析】



ポバール樹脂	高付加価値品へのシフトを進めたものの、世界的な需要減退の影響を受ける。
光学用ポバールフィルム	液晶パネルの在庫調整が一巡し、出荷は順調に回復。
水溶性ポバールフィルム	インフレによる買い控えなどの影響により、主に欧州で個包装洗剤向けの出荷が減少。
高機能中間膜	ＰＶＢフィルムの建築用途で需要の減退が見られたものの、自動車向けは堅調に推移。
〈エバール〉	自動車向けは堅調に推移したものの、食品包装用途は軟調に推移し、販売数量が減少。

主な増減要因	多くの事業で数量の減少や 在庫評価差額の影響を受けたものの、光学用ポバールフィルムの回復、高付加価値品へのシフトなどにより、セグメント全体では増益。

© Copyright 2023 KURARAY CO., LTD.

次に 5 ページ目をご覧ください。ここからは、セグメント別に事業の状況を説明いたします。

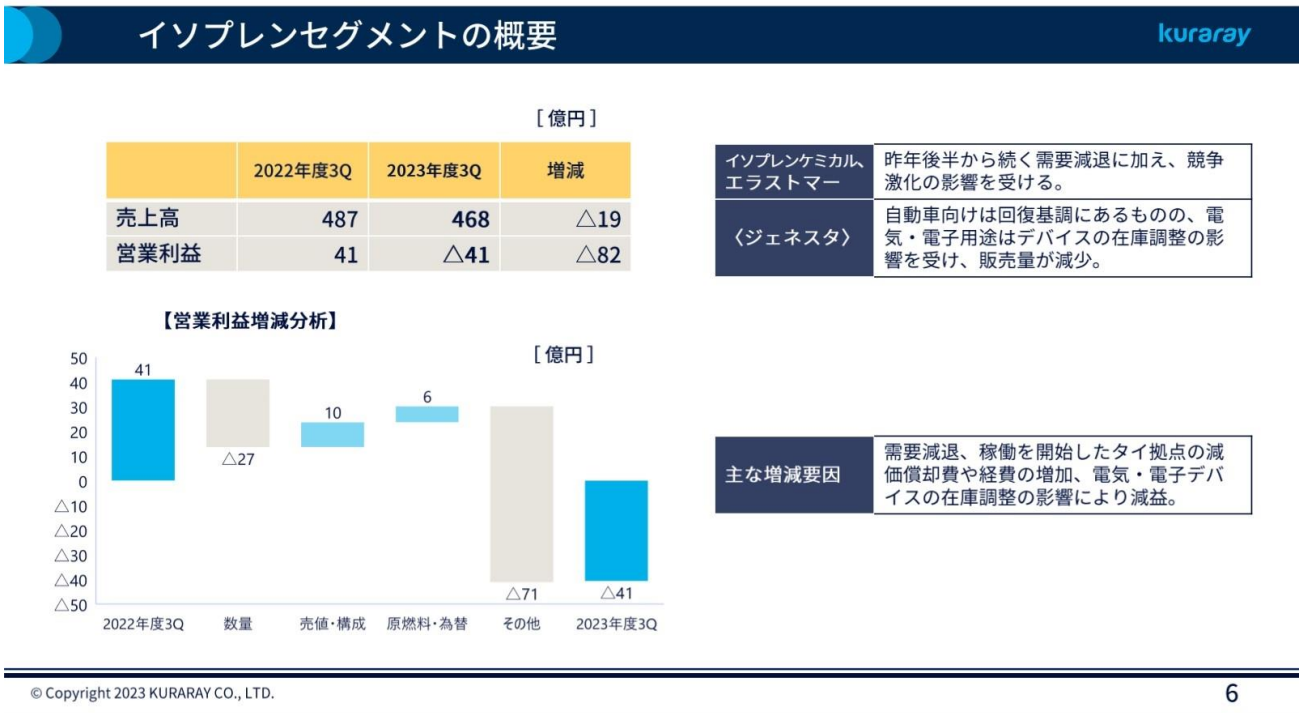
最初は、ビニルアセテートセグメントです。当セグメントは、前年対比で増収増益となりました。各事業の販売の状況は、右上に記載のコメントをご覧ください。

営業利益は、前年同期比で 48 億円増加しました。需要減退や生産調整の影響により、数量は 177 億円の減益要因となりました。

一方で、高付加価値品へのシフトなどにより、売値・構成は 272 億円の増益要因となりました。

また、在庫評価差額などの影響を受け、その他は 174 億円の減益要因となりました。多くの事業で数量が減少し、また在庫評価差額の影響もありました。

しかしながら、光学用ポバールフィルムの需要回復が進んだことと、〈エバール〉、PVB フィルムなどが貢献したことにより、セグメント全体では増益を確保しました。



6 ページ目をご覧ください。

次にイソプレンセグメントです。当セグメントは前年対比で減収減益となりました。各事業の販売の状況は、記載のコメントをご覧ください。

需要減や生産調整の影響により、数量は 27 億円の減益要因となりました。また、タイ拠点の減価償却費や経費が増加したことなどにより、その他は 71 億円の減益要因となりました。

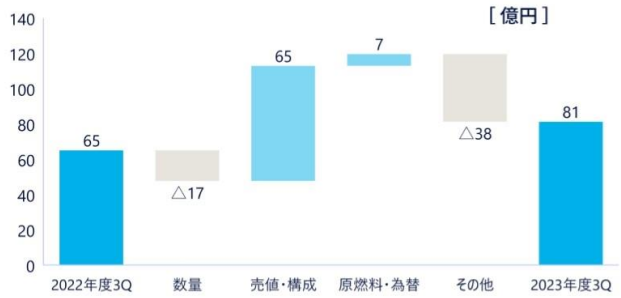
加えて、タイ拠点の立上げ後の生産設備に不具合があり、その解消のために定修期間を延長して対応したことによる生産数量減、費用増の影響もありました。3 事業いずれも減益となり、セグメント全体では 82 億円の大幅減益となりました。

機能材料セグメントの概要

［億円］

	2022年度3Q	2023年度3Q	増減
売上高	1,237	1,396	159
営業利益	65	81	16

【営業利益増減分析】



メタアクリル	電気・電子用途はデバイスの在庫調整などによる販売量の減少に加え、原燃料価格上昇の影響を受ける。
メディカル	審美治療用歯科材料の販売が欧米を中心に順調に推移。
環境ソリューション	北米の飲料水用途や工業用途で需要が増え、活性炭の販売は堅調に推移。

主な増減要因	経費の増加、在庫評価差額の影響を、価格改定と販売構成の良化でカバー。

© Copyright 2023 KURARAY CO., LTD.
7

7 ページ目をご覧ください。

機能材料セグメントは、前年同期比で増収増益となりました。各事業の状況はコメントのとおりです。

数量は 17 億円の減益要因に、その他は販管費の増加や、在庫評価差額の影響によって、38 億円の減益要因となりました。一方で、売値・構成は 65 億円の増益要因となりました。

その結果、営業利益は 16 億円の増益となりました。

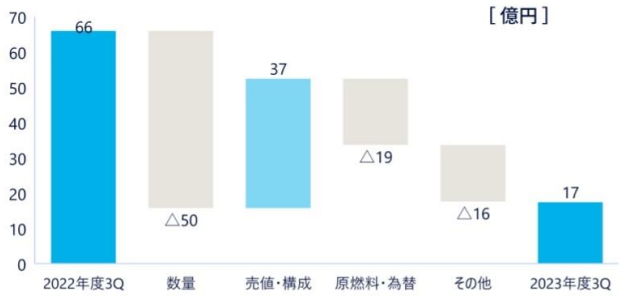
事業別では、メタアクリルは在庫調整や原燃料価格上昇などの影響を受けて苦戦しましたが、メディカルおよび環境ソリューションが好調でした。

繊維セグメントの概要

［億円］

	2022年度3Q	2023年度3Q	増減
売上高	486	449	△37
営業利益	66	17	△48

【営業利益増減分析】



〈クラリーノ〉	スポーツ用途では回復の兆しが見られたものの、ラグジュアリー用途などで需要減退の影響を受け、出荷が減少。
繊維資材	ビニロンは欧州向けが低調も〈ベクトラン〉が堅調に推移。
生活資材	〈クラフレックス〉で外食産業の需要が低調。

主な増減要因	価格改定を進めるも、景気減速による需要低迷などの影響を受け出荷が減少。

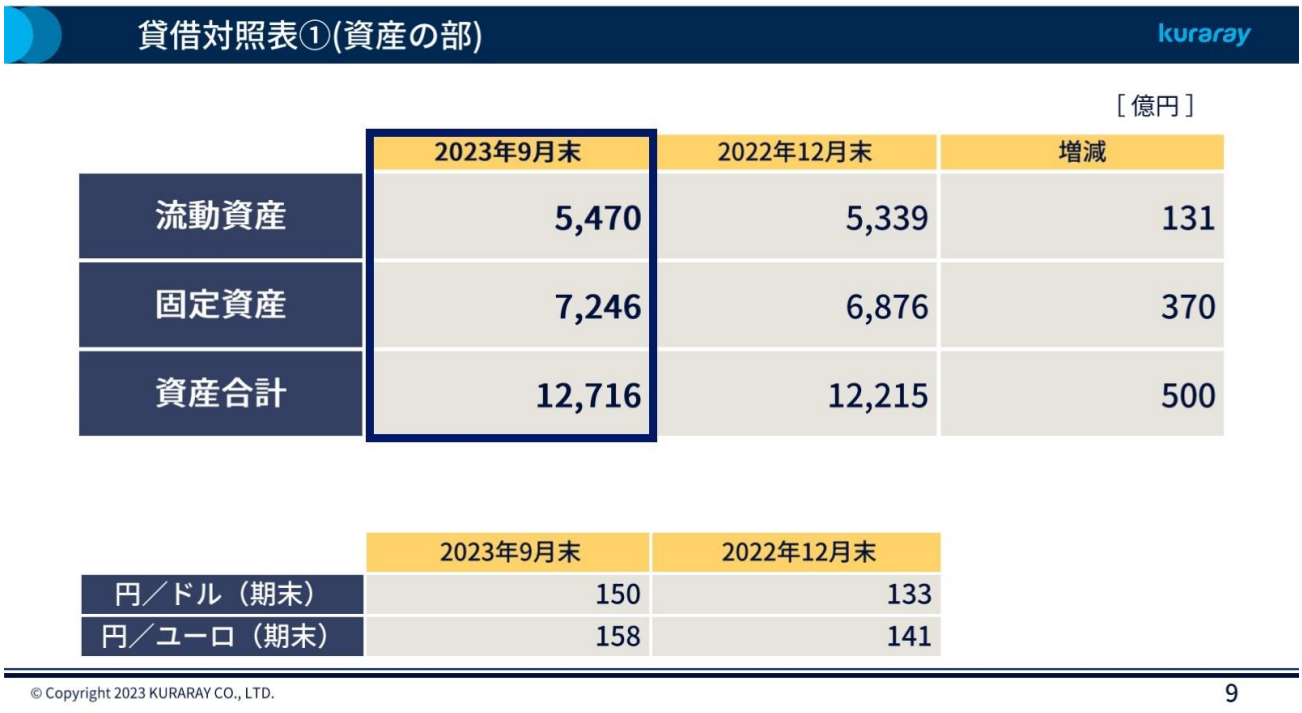
© Copyright 2023 KURARAY CO., LTD.
8

次に 8 ページ目をご覧ください。

繊維セグメントは、前年同期比で減収減益となりました。各事業の販売の状況は記載のコメントのとおりです。

数量は需要低迷の影響を受け、50 億円の減益要因となりました。

売値・構成は 37 億円の増益要因となったものの、原燃料価格上昇や在庫評価差額により、原燃料・為替およびその他が減益要因となり、セグメント全体では 48 億円の減益となりました。

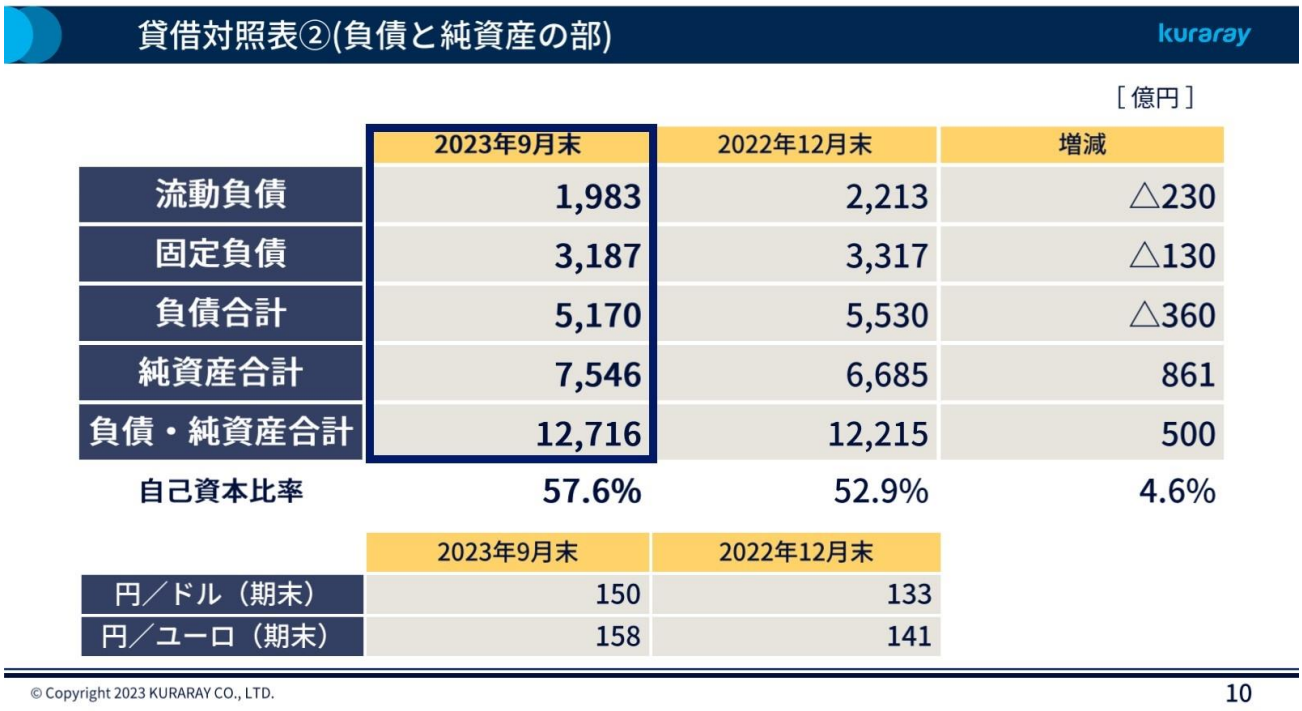


9 ページ目をご覧ください。

このスライドでは、貸借対照表の資産の部を昨年末と比較しております。

流動資産は、131 億円の増加となりました。これは現預金が 106 億円減少した一方で、為替が円安に振れたことなどにより、棚卸資産が 230 億円増加したことによるものです。

固定資産は、円安で海外子会社の固定資産の評価額が上がったことなどにより、370 億円の増加となりました。



10 ページ目をご覧ください。

このスライドでは、貸借対照表の負債、純資産の部を示しております。

負債は、長期借入金、コマーシャルペーパーや社債が減少し 230 億円の減少となりました。純資産は 861 億円の増加となりました。

その結果、自己資本比率は 22 年度末から 4.6%上昇し、57.6%となりました。

2023年度 通期業績予想

kuraray

［億円］

	2023年度予想 (2023年11月9日)	2022年度実績	増減	2023年度予想 (2023年8月9日)	増減
売上高	7,700	7,564	136	8,100	△400
営業利益	780	871	△91	840	△60
経常利益	730	841	△111	790	△60
親会社株主に帰属する当期純利益	450	543	△93	470	△20
＜参考＞					
円／ドル（平均）	140	132		138	
円／ユーロ（平均）	151	138		148	
国産ナフサ 千円／kl	68	75		66	

© Copyright 2023 KURARAY CO., LTD.

11

次に、11 ページ目をご覧ください。

第 3 四半期までの業績および足元の事業環境を踏まえ、通期業績予想を修正いたします。

売上高は、前回公表より 400 億円減の 7,700 億円、営業利益は 60 億円減の 780 億円、当期純利益は 20 億円減の 450 億円となります。

【参考】セグメント別 売上高・営業利益比較

［億円］

	2023年度予想 (2023年11月9日)		2022年度 実績		増減		2023年度予想 (2023年8月9日)		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	4,060	840	3,853	775	207	65	4,200	850	△140	△10
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	620	△90	656	43	△36	△133	700	△70	△80	△20
機能材料	1,900	100	1,741	86	160	14	1,960	105	△60	△5
繊維	610	25	669	67	△59	△42	680	35	△70	△10
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	610	50	588	51	22	△1	620	50	△10	0
その他	420	5	521	27	△101	△22	440	10	△20	△5
調整額	△520	△150	△464	△178	△56	28	△500	△140	△20	△10
合計	7,700	780	7,564	871	136	△91	8,100	840	△400	△60

© Copyright 2023 KURARAY CO., LTD.

12 ページ目以降は、修正した業績予想のセグメント別比較および詳細な計数情報となります。参考までにご覧ください。

以上で説明を終わります。ありがとうございました。

【参考】セグメント別 四半期売上高推移

［億円］

	2022年度					2023年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q (予想)	通期 (予想)
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	862	993	1,002	997	3,853	978	1,011	1,039	1,032	4,060
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	154	165	168	169	656	158	160	150	152	620
機能材料	380	398	459	503	1,741	454	480	463	504	1,900
繊維	144	174	168	182	669	135	166	148	161	610
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	140	158	141	151	588	138	152	158	162	610
その他	107	130	140	144	521	113	115	111	80	420
調整額	△110	△112	△127	△114	△464	△127	△124	△135	△134	△520
合計	1,676	1,905	1,951	2,032	7,564	1,850	1,960	1,934	1,956	7,700

© Copyright 2023 KURARAY CO., LTD.

【参考】セグメント別 四半期営業利益推移

［億円］

	2022年度					2023年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q (予想)	通期 (予想)
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	172	164	254	186	775	178	224	235	202	840
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	27	△2	17	1	43	2	△29	△14	△49	△90
機能材料	22	11	32	21	86	35	23	24	19	100
繊維	16	22	28	2	67	2	4	11	8	25
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	13	15	11	12	51	11	12	14	13	50
その他	4	8	7	7	27	1	5	0	△1	5
調整額	△33	△58	△21	△66	△178	△16	△42	△63	△28	△150
合計	221	159	328	163	871	213	196	207	163	780

© Copyright 2023 KURARAY CO., LTD.